

# 会社説明会

**77 BANK**

平成18年6月5日

**七十七銀行**

## 1. 平成17年度決算

- 損益概況・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 主要勘定・利回・利鞘・・・・・・・・ 2
- 与信費用および  
金融再生法開示債権の状況・・・・・・・・ 3

## 2. 主要経営施策

- 営業力の強化・・・・・・・・・・・・ 4
- 有価証券運用の強化・・・・・・・・ 12
- 経営効率の改善・・・・・・・・・・・・ 14
- 健全性の維持・・・・・・・・・・・・ 15

## 3. 平成18年度業績予想

- 損益・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 主要勘定・利回・利鞘・・・・・・・・ 17

<参考> 中期経営計画の進捗状況・・・・・・・・ 18

## 付属資料のご案内

- 平成17年度決算説明資料
- 平成18年3月期 決算短信
- 付表
  - 資産自己査定状況
  - 債務者区分の遷移状況
  - 金融再生法開示債権の保全状況
  - 宮城県内の企業倒産状況
  - オフバランス化の状況
  - 有価証券の状況
- 77BANK調査月報（2006年5月号）
- 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況
- 七十七の地域貢献

## 損益概況

(単位：億円、%)

	16年度	17年度	前年度比	
			増減額	増減率
業 務 粗 利 益	838	836	▲ 2	▲ 0.2
資 金 利 益	741	752	11	1.6
役 務 取 引 等 利 益	104	108	4	3.5
国 債 等 債 券 損 益	▲ 2	▲ 3	▲ 1	
外 国 為 替 売 買 益	▲ 6	▲ 23	▲ 17	
経 費	556	573	17	3.0
一般貸倒引当金繰入前業務純益	282	263	▲ 19	▲ 6.6
[コ ア 業 務 純 益]	[ 284 ]	[ 266 ]	[ ▲ 18 ]	[ ▲ 6.3 ]
一般貸倒引当金繰入額	▲ 65	▲ 22	43	
業 務 純 益	347	285	▲ 62	▲ 18.0
臨 時 損 益	▲ 179	▲ 125	54	
株 式 等 関 係 損 益	▲ 0	1	1	
不 良 債 権 処 理 損 失	173	130	▲ 43	
経 常 利 益	168	160	▲ 8	▲ 4.6
特 別 利 益	1	6	5	
特 別 損 失	18	10	▲ 8	
法人税、住民税等 (調整額含む)	62	64	2	
当 期 純 利 益	89	92	3	3.5
与 信 費 用	108	108	0	0.0

## 資金利益

有価証券利息収入の増加を  
主因として増加

## 役務取引等利益

預り資産の増強等により  
増加

## コア業務純益

次期基幹システム構築に  
伴う経費増加を主因として  
コア業務純益は減益

固定資産の減損損失額：8億円

当期利益は2年ぶりに増益

## 与信費用

前年並みの水準で推移

## 主要勘定・利回・利鞘

## ■ 主要勘定（平残）

（単位：億円、％）

	16年度	17年度	前年度比 増減率
貸 出 金	30,870	30,760	▲ 0.4
コア貸出金	29,172	30,052	3.0
事業性貸出	18,375	18,721	1.9
(うち除くスプレッド貸)	( 14,054 )	( 13,490 )	( ▲ 4.0 )
(うちスプレッド貸)	( 4,321 )	( 5,231 )	( 21.1 )
消費者ローン	6,596	6,691	1.4
(住宅ローン)	( 5,864 )	( 5,986 )	( 2.1 )
地公体等向け	4,201	4,640	10.4
有 価 証 券	17,469	18,808	7.7
国 債	8,911	9,878	10.9
社 債	4,491	4,467	▲ 0.5
株 式	651	672	3.2
預金＋譲渡性預金	48,892	49,138	0.5
個人預金	33,314	33,587	0.8
法人預金	11,651	11,697	0.4

（注）コア貸出金は、預金保険機構・財務省等向け貸出金およびローン・キャッシングを除いた貸出金

参考

預り資産（末残）	2,237	3,668	64.0
----------	-------	-------	------

（注）預り資産は、投資信託、公共債、個人年金保険、外貨預金の合計

## ■ 利回・利鞘

（単位：億円、％）

	16年度	17年度	16年度比 増減
貸 出 金	1.77	1.74	▲ 0.03
コア貸出金	1.87	1.78	▲ 0.09
事業性貸出	1.71	1.60	▲ 0.11
(うち除くスプレッド貸)	( 2.09 )	( 2.05 )	( ▲ 0.04 )
(うちスプレッド貸)	( 0.48 )	( 0.45 )	( ▲ 0.03 )
消費者ローン	2.40	2.42	0.02
(住宅ローン)	( 2.06 )	( 2.08 )	( 0.02 )
地公体等向け	1.76	1.59	▲ 0.17
有価証券利回	1.20	1.31	0.11
預金等利回り	0.03	0.02	▲ 0.01
資金スプレッド	1.45	1.47	0.02
総資金利鞘	0.31	0.31	0.00

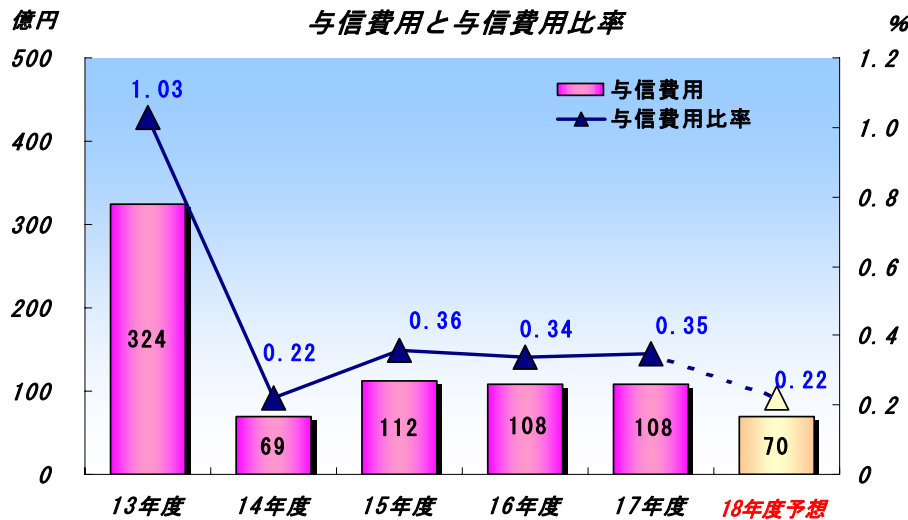
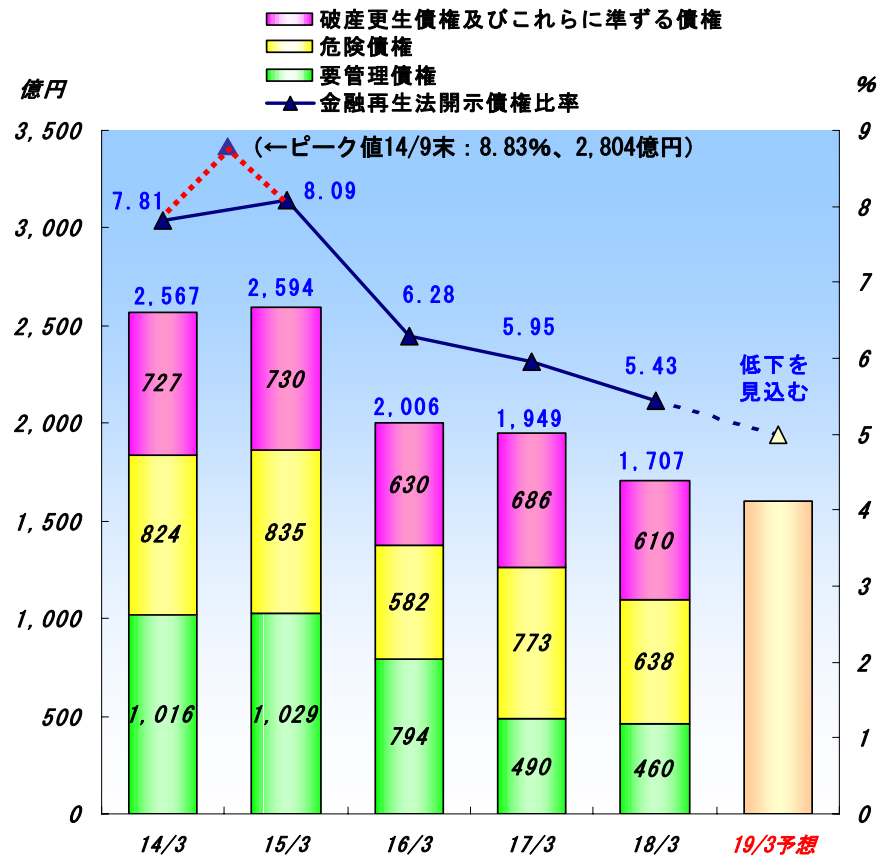
# 与信費用および金融再生法開示債権の状況

## ■ 与信費用の推移

(単位：億円)

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度 予想
一般貸倒引当金 繰入額	75	▲ 9	▲ 60	▲ 65	▲ 22	▲ 5
不良債権 処理損失	249	78	172	173	130	75
(うち債権 売却損)	(4)	(28)	(63)	(11)	(29)	(N/A)
合計	324	69	112	108	108	70

## 金融再生法開示債権の推移



# 営業力の強化

## ■ 本部渉外体制の強化 ~法人渉外体制強化の取組実績と今後の展開~

### ■ ローンサポートチームの強化・増員 (17年10月：4名→8名)

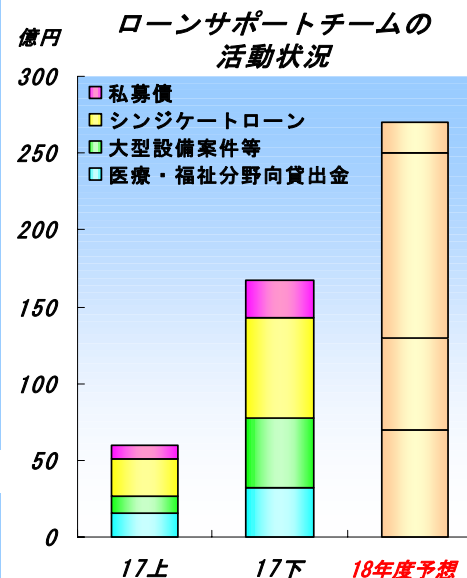
◆ 成長分野向け貸出への取組強化 (医療・福祉分野向け案件)

◆ 大型設備案件への取組強化

◆ シンジケートローンへの取組強化 (アレンジャー受託組成額)

◆ 私募債への取組強化

	17年上期	17年下期	18年度 予想
成長分野向け貸出への取組強化 (医療・福祉分野向け案件)	15億円	32億円	約70億円
大型設備案件への取組強化	12億円	48億円	約60億円
シンジケートローンへの取組強化 (アレンジャー受託組成額)	24億円	65億円	約120億円
私募債への取組強化	9億円	24億円	約20億円



### ■ ビジネスサポートチーム (4名) による法人総合取引推進強化

◆ ビジネスマッチングへの取組強化 (営業斡旋実績)

◆ M & A への取組強化

◆ 株式公開支援への取組強化 (証券代行業務、市場誘導業務)

◆ 401k型総合プラン

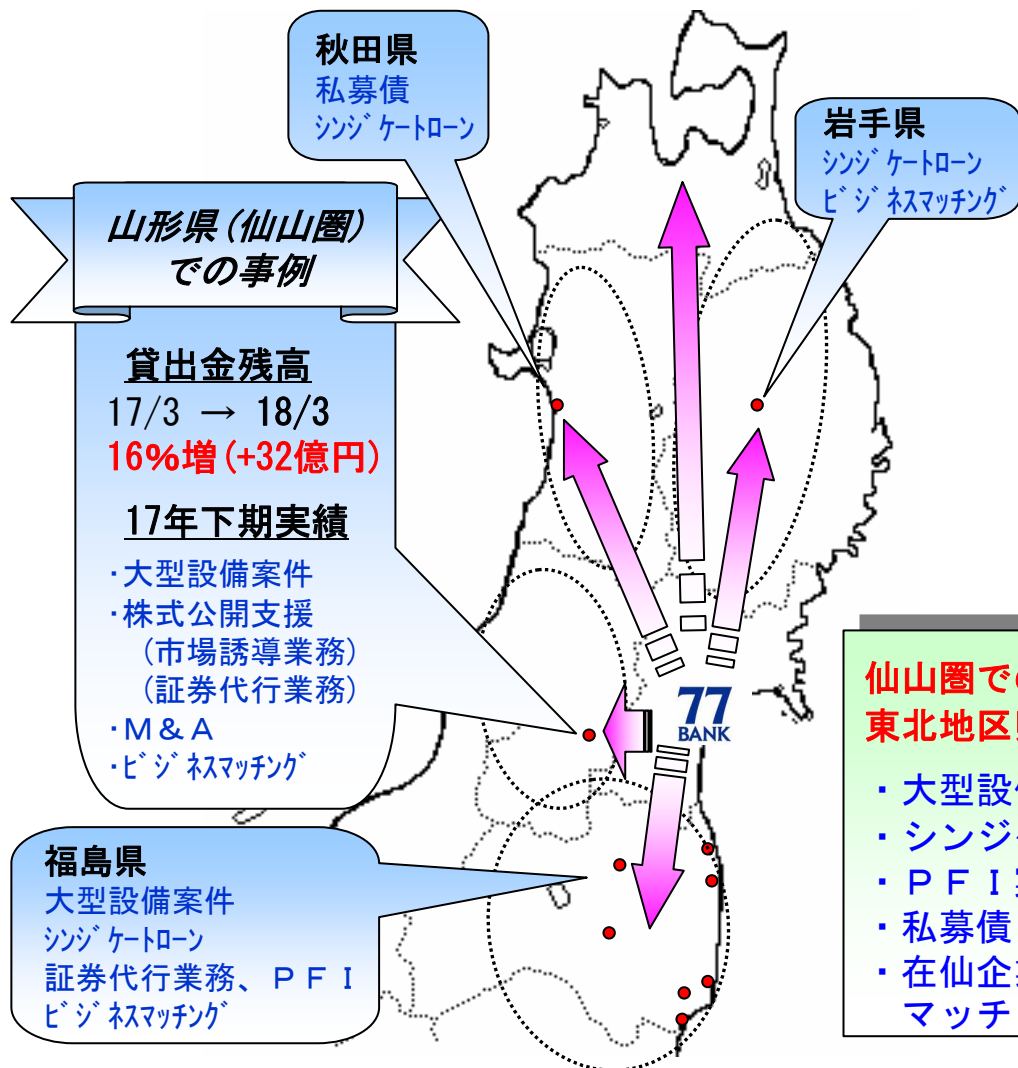
◆ 天候デリバティブ

	17年上期	17年下期	18年度 予想
ビジネスマッチングへの取組強化 (営業斡旋実績)	39件	57件	約200件
M & A への取組強化	2件	4件	
株式公開支援への取組強化 (証券代行業務、市場誘導業務)	2件	2件	
401k型総合プラン	5件	6件	
天候デリバティブ	8件	16件	

- 案件発掘
- 顧客ニーズ多様化への対応
- 役務収益の増強
- リレーションシップの強化

# 営業力の強化

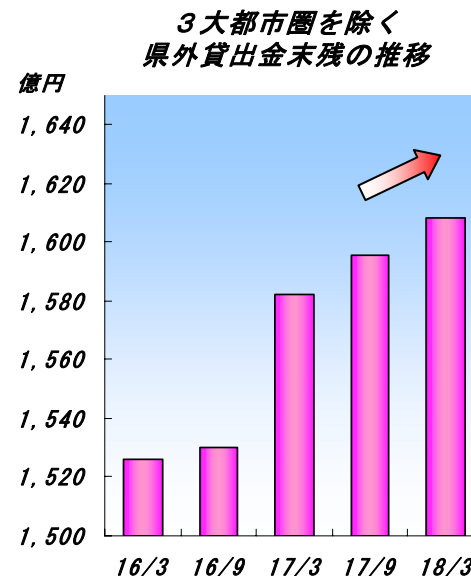
## ■ 本部渉外体制の強化 ~ 県外東北地区への営業展開の取組実績と今後の展開 ~



- 県外東北地区への積極的な営業展開
- ◆ ローンサポートチーム・ビジネスサポートチームによる県外優良企業等の案件発掘

- ※ マネーアドバイザーによる営業店支援
- ◆ 県外東北地区営業店のオーナー経営者等の困り込み  
預り資産成約支援実績:17/上10億円 → 17/下30億円

- 仙山圏での事例を踏まえ、東北地区県外地域に営業展開**
- ・大型設備案件
  - ・シンジケートローン
  - ・PFI案件
  - ・私募債
  - ・在仙企業とのビジネスマッチング



# 営業力の強化

## ■ 本部渉外体制の強化 ~個人渉外体制強化の取組実績と今後の展開~

### ■ 預り資産推進体制の強化

◆ マネーアドバイザー(MA)の強化・増員(17年10月:6名→12名)

○ 営業店バックアップの強化  
と高度なFP案件への対応

	17年上期	17年下期 (増加率)	18年度 予想
・ 帯同訪問成約実績(預り資産)	39億円	57億円 (+44%)	200億円
・ 帯同訪問件数	342件	723件 (+111%)	—
・ 店内研修会開催	143件	341件 (+138%)	—
・ 預り資産見込案件	15億円	35億円 (+133%)	80億円
・ 遺言信託・遺産整理業務受託実績		6件 (—)	10件

### ■ 住宅ローン推進体制の強化

◆ 住宅業者渉外専担者の増員(17年10月:5名→8名)

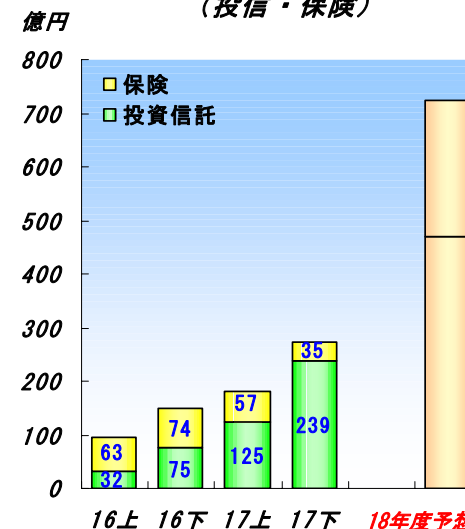
	17年上期	17年下期 (増加率)	18年度 予想
○ 専担者関連実績(斡旋提携案件)	552件	856件 (+55%)	—
	122億円	185億円 (+52%)	500億円

◆ ローンセンターの増設(17年度中に県内中核都市に2カ所増設、6カ所体制へ)

	17年上期	17年下期 (増加率)
○ ローンセンターの実績	684件	861件 (+26%)
	143億円	182億円 (+28%)

※ローンセンターの取扱比率(実行ベース)は34%から44%へ

預り資産販売額の推移  
(投信・保険)



石巻市に  
ローンセンターを設置 (18/7)  
ローンセンターは7カ所体制へ

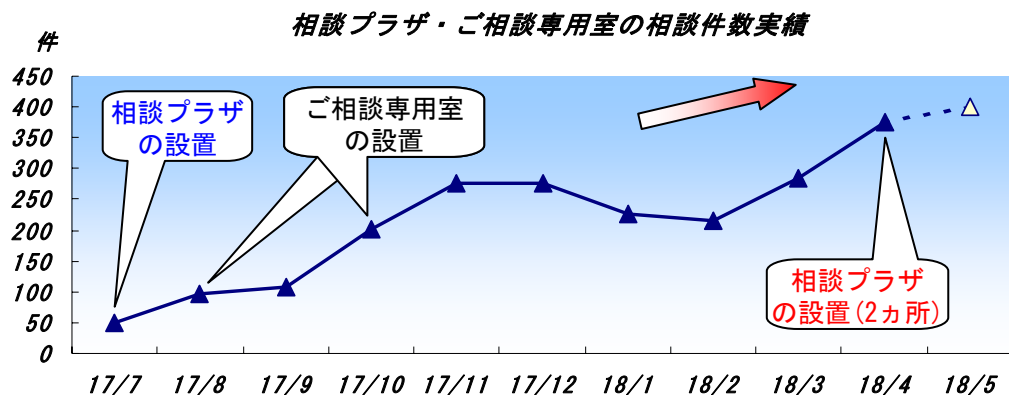


## 営業力の強化

### ■ 営業力強化に向けたその他の取組実績と今後の展開

#### ■ 相談プラザ・ご相談専用室の活用

- ◆ アンテナ店舗による顧客ニーズの着実な捕捉  
仙台市内全域の顧客層の相談ニーズの掘り起こし
- ◆ 顧客層の拡大
  - 時間延長により顧客の相談ニーズに対応、新たな顧客層を取込み



東北随一の動線※に  
相談プラザを  
2カ所増設(18/4)

- ・ 一番町相談プラザ
- ・ 新伝馬町相談プラザ

※人通り3万人/日以上  
のターミナル拠点

#### ■ 企業支援室の設置

- ◆ 事業再生・経営改善支援の取組強化
  - 営業店指導の効果の発揮
  - 外部機関との連携による効果の発揮

#### ■ 上海駐在員事務所の活用

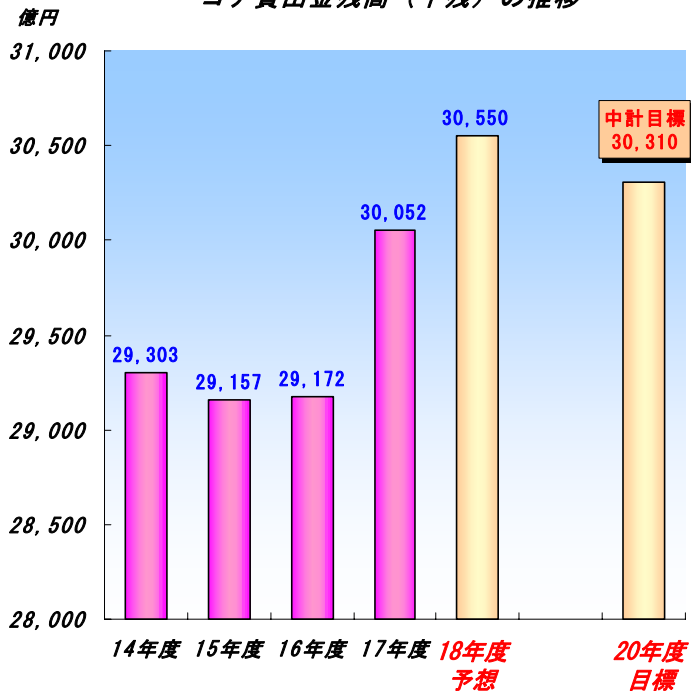
- ◆ 「地銀八行合同商談会 in 上海」の開催(18/7)

# 営業力の強化

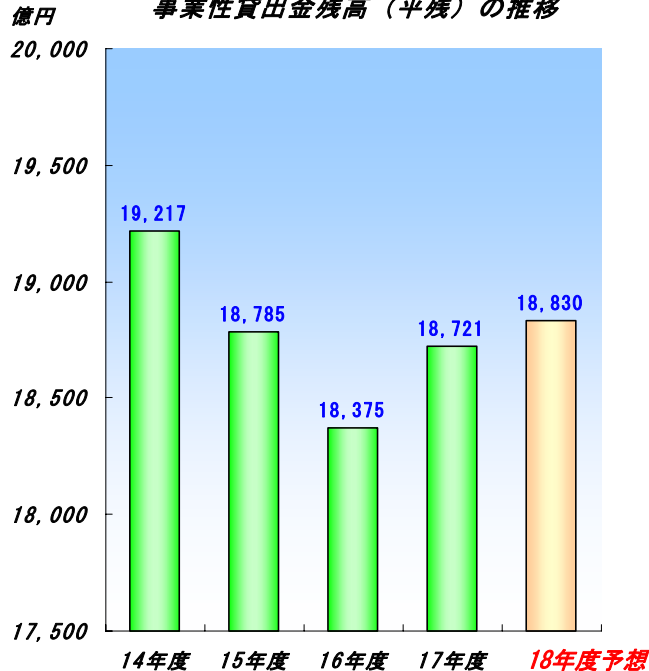
## ■ コア貸出金増強への注力 ①

- コア貸出金、事業性貸出金は増加基調に → ボリューム増加による資金利益底上げへ
- ◆ コア貸出金は前年比+3.0%、県内貸出金シェアも高水準を維持

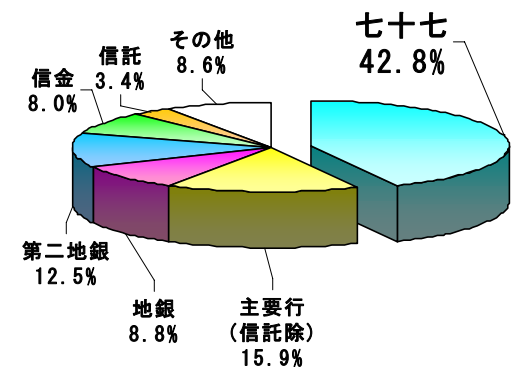
コア貸出金残高（平残）の推移



事業性貸出金残高（平残）の推移



宮城県内貸出金シェア (平成18年3月末)



出所:宮城県銀行協会ほか

# 営業力の強化

## ■ コア貸出金増強への注力 ② ～事業性貸出金の増強～

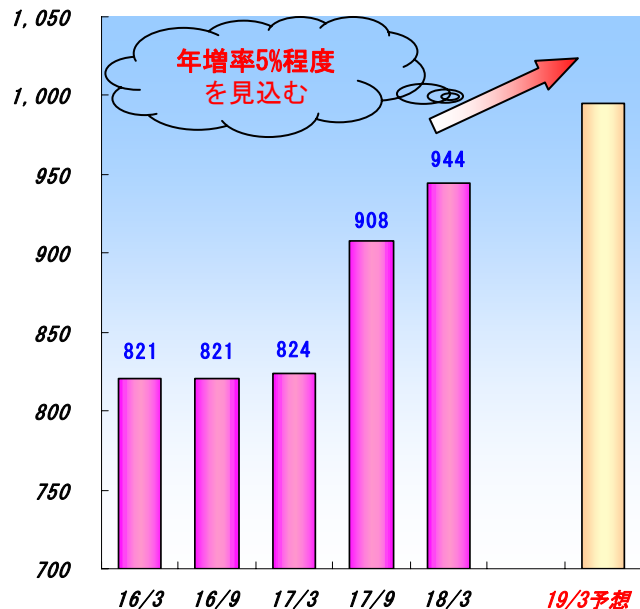
### ■ 地元中堅・中小企業向け貸出の推進

- ◆ 新規案件の積極的な発掘と迅速な審査対応
  - 成長業種向け案件への対応強化
    - ・ 医療・福祉分野向け新商品の開発
  - アパートローン、ビジネスローンの活用
  - 信用格付に応じた決裁権限の拡大

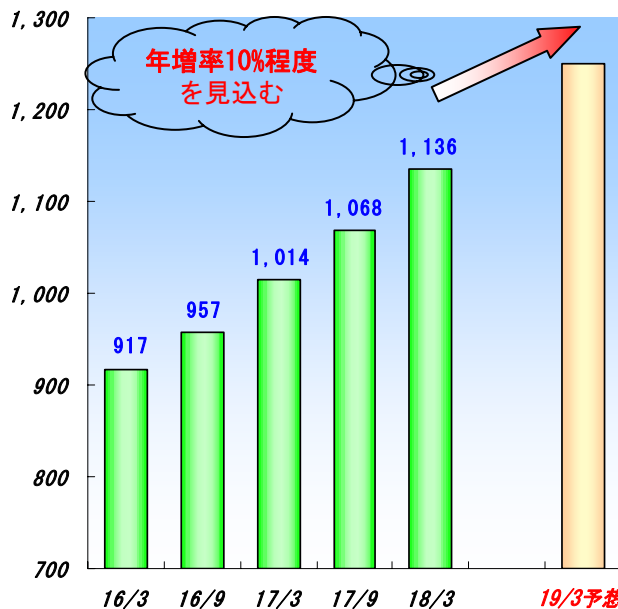
### ■ ローンサポートチームとビジネス

- サポートチームの活用による案件発掘
  - ◆ プロジェクトファイナンス等高度な案件の組成
  - ◆ 情報営業を活用した案件発掘
  - ◆ 東北地区県外エリアの優良取引先の開拓

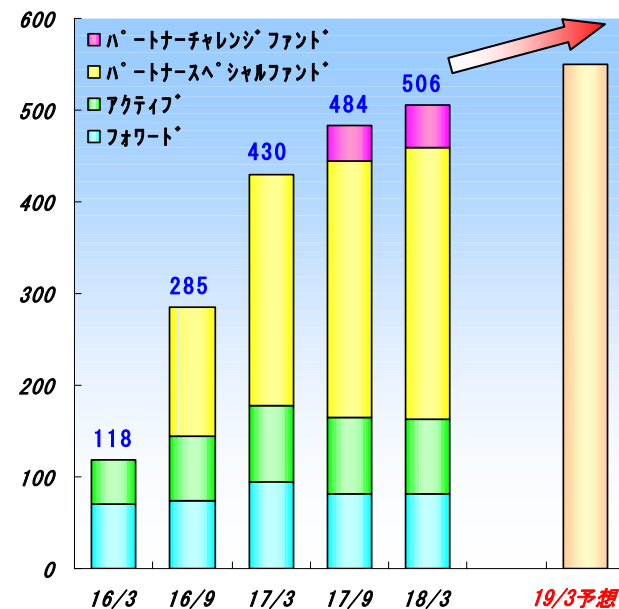
億円 医療・福祉向け貸出金残高（末残）



億円 アパートローン残高（末残）



億円 ビジネスローン残高（末残）



# 営業力の強化

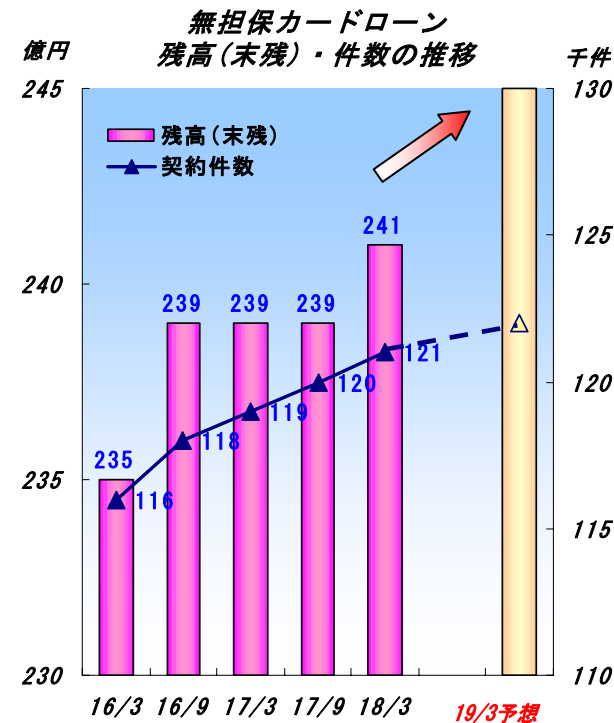
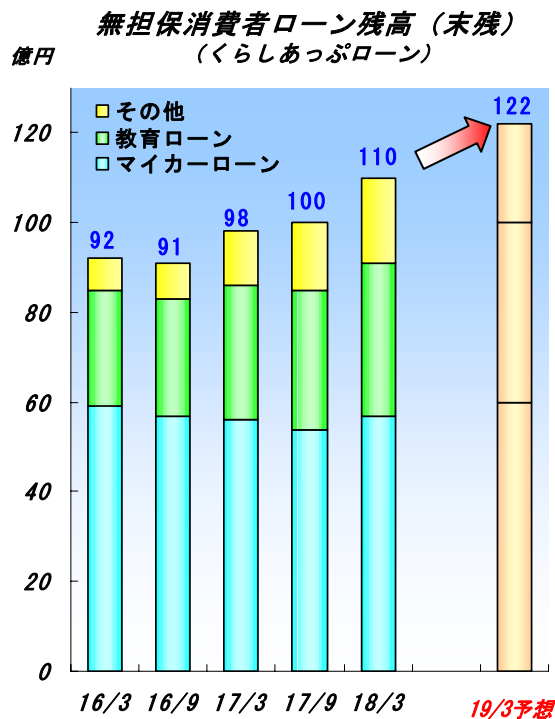
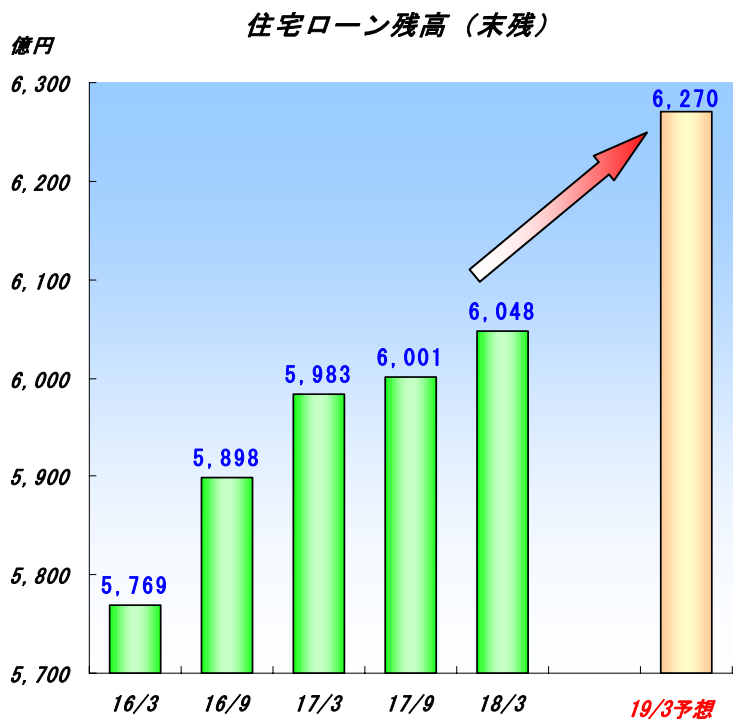
## ■ コア貸出金増強への注力 ③ ～消費者ローンの増強～

### ■ 住宅ローンの推進

- ◆ 本部渉外要員による業者囲い込みとローンセンターの活用
- ◆ 外部保証を活用した顧客層の拡大

### ■ 無担保消費者ローンの推進

- ◆ 教育ローンは年増15%のペースで推移
- ◆ カードローンは件数・残高とも増加基調維持
- ◆ データベースマーケティングによる潜在的ニーズの掘り起こし



# 営業力の強化

## ■ 預り資産の推進

### ■ 窓口提案型営業体制の強化と顧客層の拡大

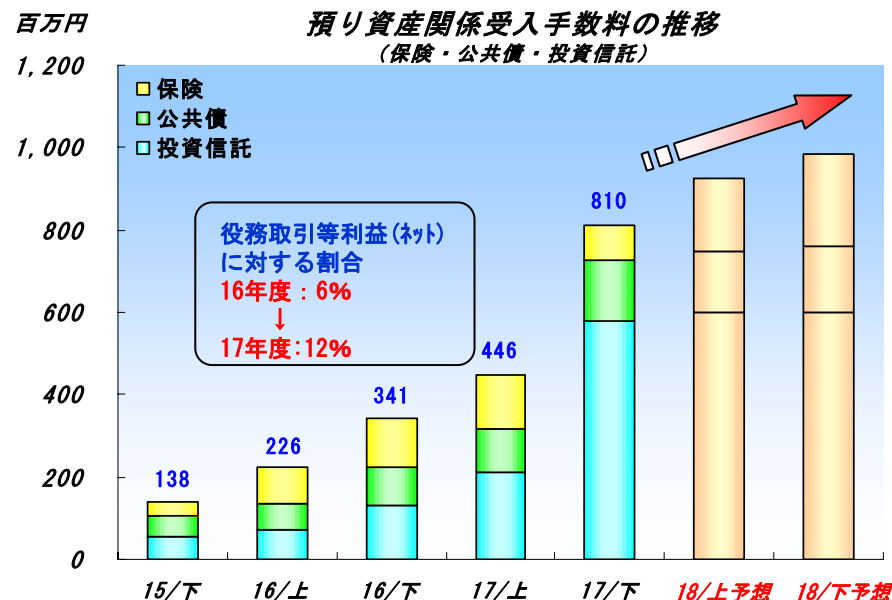
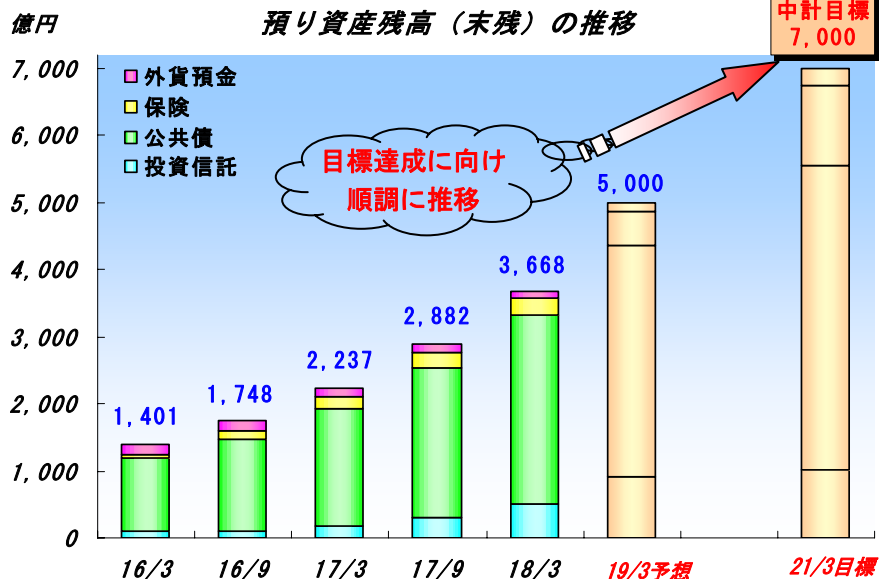
- ◆ 相談プラザの増設
  - ・ 仙台市中心部に2カ所増設
- ◆ 休日資産運用相談会の開始

### ■ 商品ラインアップの充実

- ◆ 投資信託販売商品の充実
  - 毎月分配型を6種類に拡大 (取扱ファンドは25種類)
  - ご当地ファンドの取扱開始
- ◆ 保険商品の充実
  - 個人年金保険を12種類に拡大

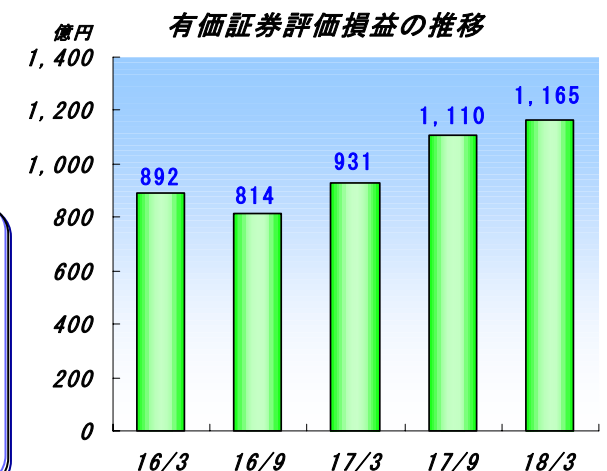
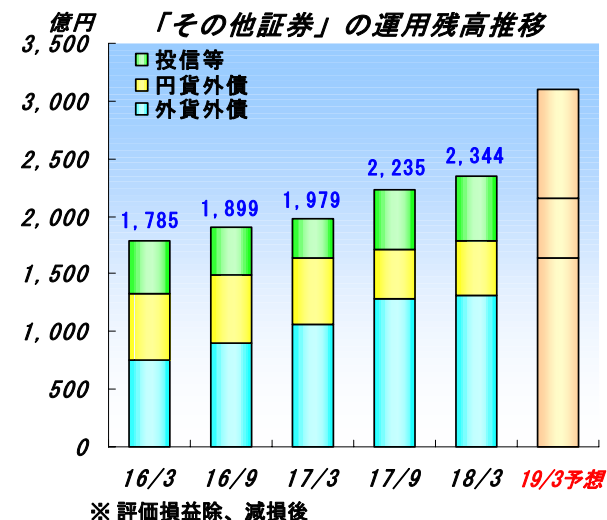
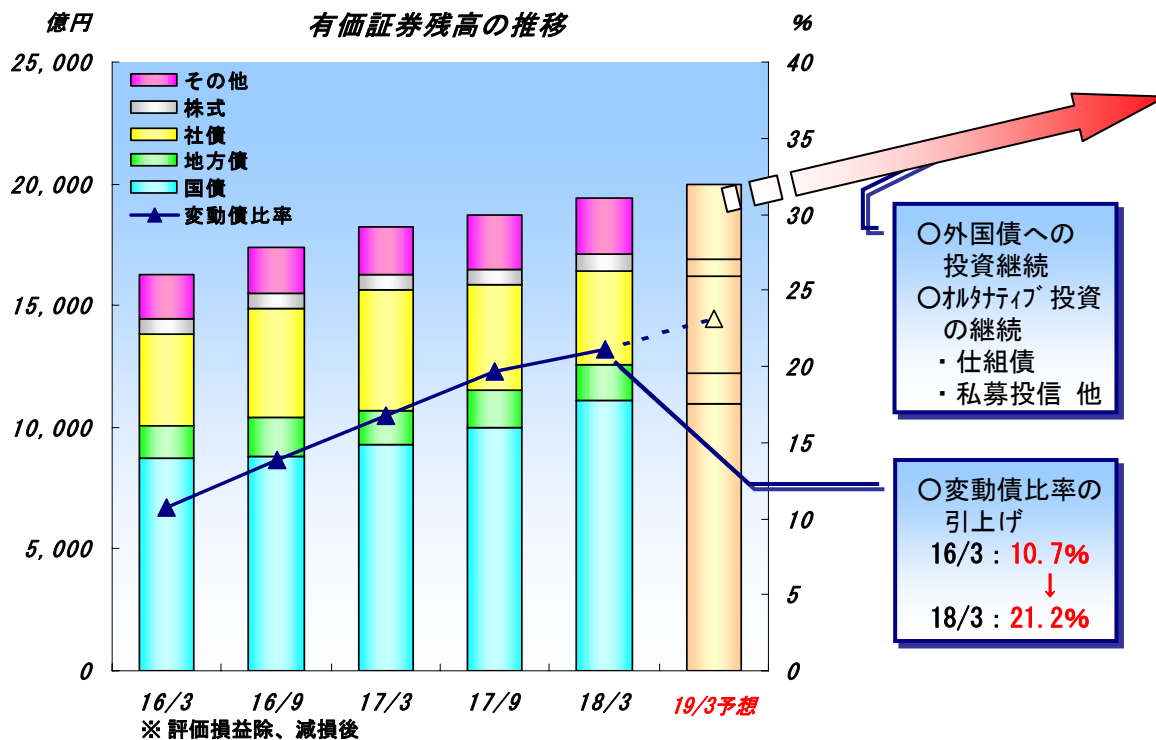
### ■ マネーアドバイザー(本部渉外)の活用

- ◆ 相続関連業務等、高度な資産運用相談機能の発揮
- ◆ マネーアドバイザーによる営業店研修の継続



# 有価証券運用の強化

## ■ 有価証券ポートフォリオの状況



■ 利回り向上に向けた取組み

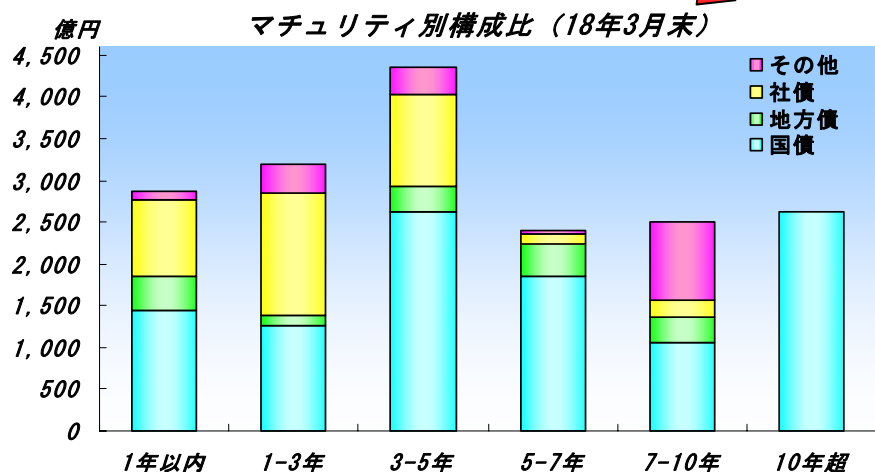
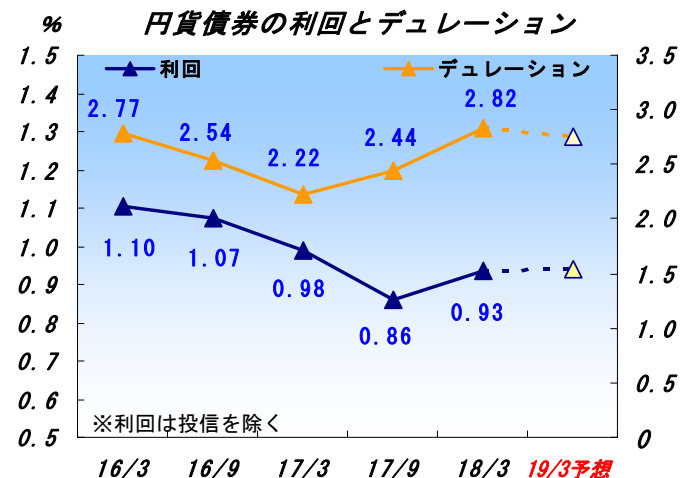
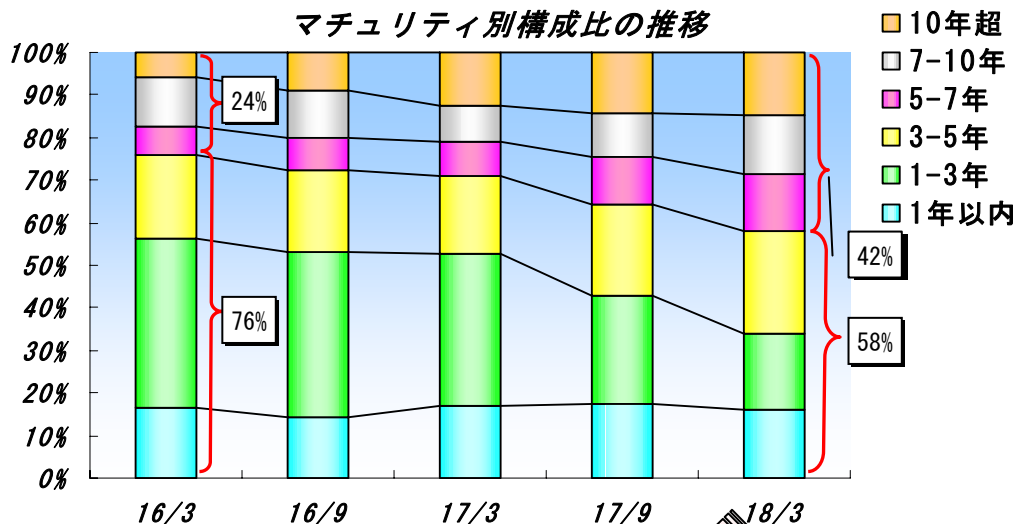
- ◆ その他債券の運用拡大
  - 外債、オルタナティブ投資の拡大
- ◆ 機動的な入替取引 (※次ページ参照)
  - 償還構成の見直し
  - 変動債比率の引上げ

■ リスク分析、相関を勘案した資産配分

- ◆ 評価損益は増加
  - 金利上昇に伴う債券評価損増加をエクイティ関連投資でカバー

# 有価証券運用の強化

## ■ 運用力の強化



### ■ 運用力の強化

#### ◆ 機動的な入替取引

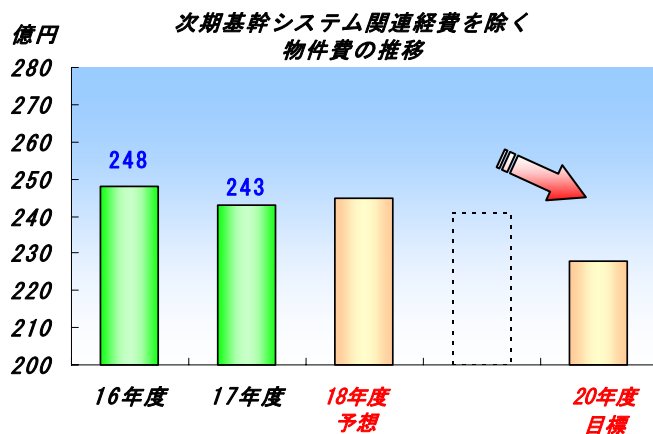
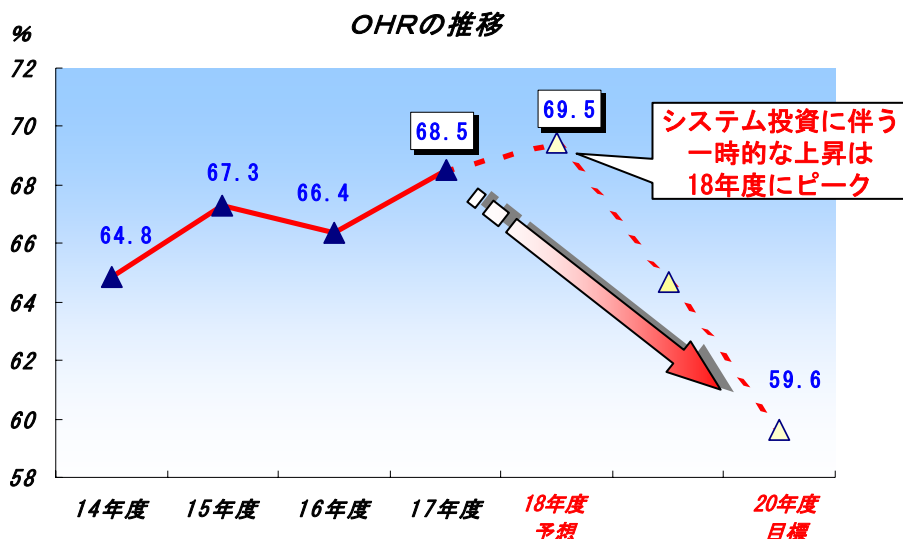
- 収益性の向上と償還構成の平準化を目的に入替を実施
- イールドカーブのスティープ化対策として変動利付国債への投資を継続

#### ◆ 人材の育成

- 運用の更なる多様化、高度化を図るための人材の強化
  - ・ 外部運用機関への人材の派遣
  - ・ 海外トレーニー派遣

# 経営効率の改善

## ■ OHRの改善

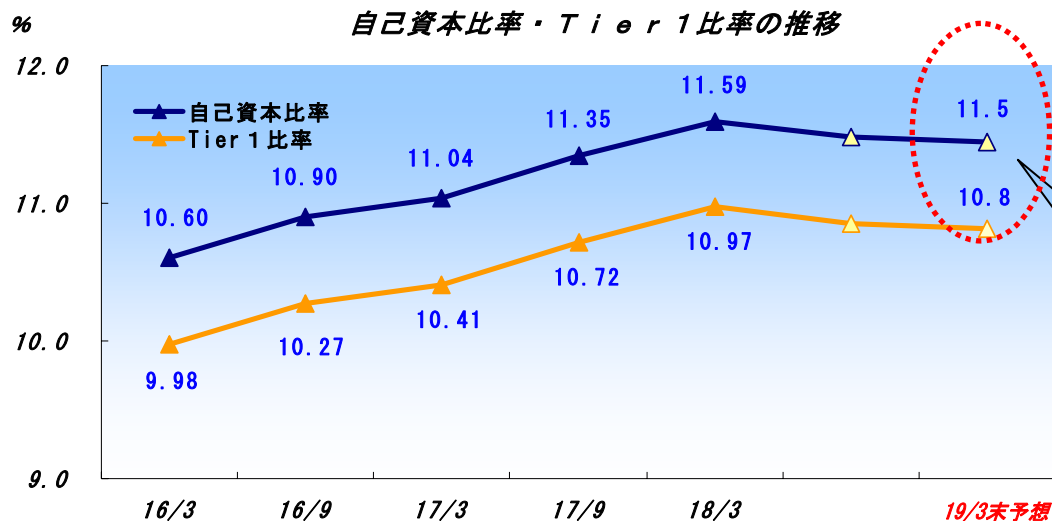


- コスト構造改革
  - ◆ アウトソーシングの推進
    - 営業店業務のアウトソーシング拡大
- 業務プロセスの改善に向けたシステム投資
  - ◆ 業務電子化の拡大
    - 電算還元資料等行内文書の電子化
- 資産の収益性向上
  - ◆ 不稼働資産の整理・圧縮促進
  - ◆ 資産の有効活用



# 健全性の維持

## ■ 自己資本

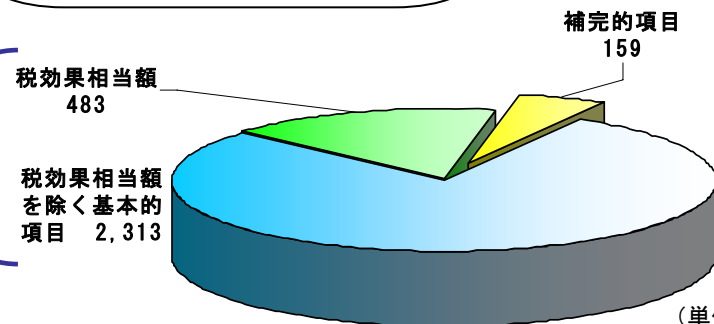


- ◆ 平成18年3月末の自己資本比率は11.59%と健全性を維持  
(国際統一基準では13.17%)
- ◆ 同Tier 1比率も10.97%と引続き高水準

収益拡大に向けたリスクアセットの増加に伴い、19年3月期の自己資本比率は若干の低下を見込む

- ◆ 税効果相当額のTier 1に対する割合  
→ 17.3%
- ◆ 税効果除く自己資本比率  
→ 9.7%

基本的項目  
(Tier 1)  
2,796億円



(単位：億円)

(注) 税効果相当額は、その他有価証券の評価差額に係る繰延税金負債との相殺前の繰延税金資産

## 損 益

(単位：億円、%)

	17年度 (実績)		18年度 (予想)	
		前年度比 増減額		前年度比 増減額
業 務 粗 利 益	836	▲ 2	837	1
資 金 利 益	752	11	759	7
役 務 取 引 等 利 益	108	4	112	4
国 債 等 債 券 損 益	▲ 3	▲ 1	▲ 5	▲ 2
経 費	573	17	582	9
一般貸倒引当金繰入前業務純益	263	▲ 19	255	▲ 8
[ コ ア 業 務 純 益 ]	[ 266 ]	[ ▲ 18 ]	[ 260 ]	[ ▲ 6 ]
一般貸倒引当金繰入額	▲ 22	43	▲ 5	17
業 務 純 益	285	▲ 62	260	▲ 25
臨 時 損 益	▲ 125	54	▲ 100	25
株 式 等 関 係 損 益	1	1	0	▲ 1
不 良 債 権 処 理 損 失	130	▲ 43	75	▲ 55
経 常 利 益	160	▲ 8	160	0
当 期 純 利 益	92	3	95	3
与 信 費 用	108	0	70	▲ 38

## 主要勘定・利回・利鞘

(単位：億円、%)

		17年度 (実績)	前年度比	18年度 (予想)	前年度比
主要勘定 (平残)	貸出金	30,760	▲ 0.4	30,790	0.1
	コア貸出金	30,052	3.0	30,550	1.7
	有価証券	18,808	7.7	19,624	4.3
	預金＋譲渡性預金	49,138	0.5	49,500	0.7
利回・利鞘	貸出金利回	1.74	▲ 0.03	1.76	0.02
	コア貸出金利回	1.78	▲ 0.09	1.78	0.00
	有価証券利回	1.31	0.11	1.33	0.02
	預金等利回	0.02	▲ 0.01	0.03	0.01
	資金スプレッド	1.47	0.02	1.45	▲ 0.02
	総資金利鞘	0.31	0.00	0.29	▲ 0.02
参考	預り資産残高	3,668	64.0	5,000	36.3

(注) 前年度比は、主要勘定、預り資産が増減率、利回・利鞘がポイント差

## 中期経営計画の進捗状況

(単位：億円、%)

	16年度	17年度		18年度予想	20年度目標
			計画対比		
業務粗利益	838	836	15	837	925
資金利益	741	752	21	759	835
役務取引等利益	104	108	0	112	125
経費	556	573	▲ 5	582	552
コア業務純益	284	266	26	260	380
OHR	66.4	68.5		69.5	59.6
自己資本比率(国内基準)	11.0	11.6		11.5	12.0
コア貸出金	29,172	30,052		30,550	30,310
預り資産残高(末残)	2,237	3,668		5,000	7,000

※参考：金利水準予想

(単位：%)

	17年3月末	18年3月末	18年度予想	20年度予想
無担保コールO/N	0.022	0.002	0.010	0.500
日本円TIBOR(3ヵ月)	0.084	0.128	0.200	0.700
新発10年国債流通利回り	1.320	1.770	2.000	2.750
当行短期プライムレート	1.875	1.875	1.875	1.875

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社七十七銀行 総合企画部

TEL 022-267-1111

企画課（内線 3010・3011）

主計課（内線 3050・3054）

広報・関連事業課（内線 3020・3021）

インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www.77bank.co.jp/>

# 七十七銀行